

言葉の壁は乗り越えられる、
外国人材が働きやすく暮らしやすい環境をつくる。

CASE
05

COMPANY

株式会社タカノ鐵工



企業概要

- 企業名：株式会社タカノ鐵工
- 所在地：宮城県本吉郡南三陸町
志津川字平井田77番地44
- 設立年：1994年
- 資本金：1,000万円
- 従業員数：36名
うち高度外国人材1名、技能実習生6名
国籍内訳：ベトナム7名
- 業種：一般鉄骨加工業、建設業
- ホームページ：<https://takano-g.com>

事業内容

土木・建設関連業を営む高野グループの一員として、鉄鋼業を担う。主な製品は、工場やビルなどの大型建築物に欠かせない鉄骨。図面の作成から原料の加工、組み立て、溶接、塗装、現場での施工までを一貫して手がけている。

企業インタビュー



会長
高野 剛氏

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

技術者の求人に応募が少なく、採用活動に悩んでいた

CAD技術者の募集に人材が集まらず、悩んでいました。人材不足解消のために技能実習生を受け入れようと、2018年8月、仲間とともに特定監理団体「宮城地域活性企業協同組合」を設立。ベトナムの学校を訪問する中で、高度外国人材を紹介されました。面接をして1名を採用、翌2019年には2名を採用します。彼らが家庭の事情で帰国したので、2023年、新たに1名を雇用しました。

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

外国人材のための寮をつくり、生活環境を整えた

外国人が借りられるアパートはまだ少ないです。そこで、当社の寮をつくりました。技能実習生は日本語があまり得意ではないため、お互いに助け合えるように二人部屋にしました。高度外国人材は一人部屋です。日本語でのコミュニケーションに不安はないので、プライベートを重視しました。ただ、困りごとがあれば、気軽に相談できるように配慮はしています。

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

東北地域で働きたくなるように、魅力をアピールしていく

当社では高度外国人材も技能実習生も、ベトナムから迎え入れています。宗教的な制約がなく、日本の生活にもなじんでもらいやすいのです。ただ、現地での東北地域の人気はいまいち。田舎を避けて、都市部に行きたがる傾向があります。そこで、都会にはない地方ならではの良さで勝負しなければなりません。南三陸町の豊かな自然、うちの社員を始め地元住民の面倒見の良さなどをアピールしています。東北の過疎

地に優秀な人材を呼び込むためには、外国人が住みやすい地域づくりが大切だと思っています。

これは面接の課題なのですが、誰もが口をそろえて、「何があってもがんばります」と言うわけです。だから、言葉よりも表情や振る舞いを見て、誠実さが感じられる人を採用するようにしています。

高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

定着の秘訣は、親身になってとことん寄り添う

高度外国人材を初めて受け入れる前、「誰も英語やベトナム語を話せないのに一緒に働けるのか」と、社員たちは不安を口にしていました。しかし、過疎化が進む南三陸町では、外国からも人材を採用しないと立ち行かないと説得しました。蓋を開けてみれば、言葉の壁をあっさり乗り越えて、うまくやっています。社員たちは、自宅に呼んでごはんを食べさせたり、米や野菜を差し入れしたりと、我が子に接す

るように外国人社員の世話を焼いていますね。

経営者が頭を悩ますのは、社員の離職です。もちろん高度外国人材にも長くいてもらいたい。そのためには、まず、給料・休日・有給休暇の日数のほか、資格の取得などについて、理解してもらえるまでしっかりと説明しています。あとは、仕事だけではなくプライベートな相談にも乗っています。そのためか、定着率はいいですね。

高度外国人材活用による成果・変化

会社に活気が生まれ、日本人社員たちがやる気になった

昨年9月に入社したチョンさんは、3年間ほど日本で働いた経験があり、鉄骨加工に関する専門用語を教えるだけで、何の支障もなく業務を行っています。チョンさんが、専門用語もCAD技術もどんどん習得して、一生懸命に仕事に取り組んでいる姿を見て、日本人社員たちが、自分も負けてはいられないと、やる気になっています。

高度外国人材に限定した話ではありませんが――。工場には勤続

年数の長い年配の職人が多いこともあって、チョンさんのような若者が入社すると、やはり活気が出ます。また、以前の工場には、昔気質の職人たちのどことなく猛々しい空気がありました。ところが、技能実習生の女性二人が溶接工として勤務してからは、職人たちの言葉づかいが丁寧になって、雰囲気や和やかになったのです。これもまた、良い変化だと思っています。

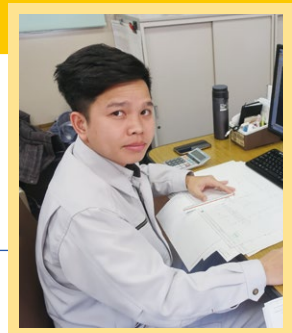
高度外国人材社員インタビュー

INTERVIEW

鉄骨製作管理技術者を 目指して勉強中です。

NGUYEN HUU TRONG 氏
(ゲンヒュー チョン)

国籍：ベトナム 2023年入社



入社理由

ベトナムの工業系短大を卒業したあと、2017～2020年、神奈川県で技能実習生として働いていました。帰国後、高度外国人材の制度を知り、もう一度、日本で働きたかったのが、タカノ鐵工の面接を受けました。CAD技術を習得して、鉄骨加工図（鉄骨の詳細情報を書き込む図面）をつくれるようになって、日本人社員と同じように働きたいです。

業務内容

CAD技術者として、鉄骨の一般図（建築物の設計図をもとに鉄骨の基本情報をまとめた図面）を書いています。入社からもうすぐ半年になるので、仕事には慣れてきました。ただ、一人でもできる業務はまだ多くはありません。今は、分からないことを先輩に教わりながら、仕事を覚えて、スキルを磨いているところです。

東北地域で働く理由・良さ

東北の人たちは面倒見がいいし、心根が優しいです。タカノ鐵工のみんなも親切なので、相談しやすいです。仕事はもちろん生活や日本語についても、分からないときは質問するとすぐに教えてくれます。

以前に住んでいた神奈川県に比べると、南三陸町は遊ぶところがあまりなく、しっかりと貯金できるのもいいですね。

今後のキャリアプラン

今、運転免許の取得を目指しています。事務所内で図面を書くだけではなく、施工現場を見たいからです。来年には日本語能力検定N2にも挑戦します。日本語がもっとうまくなれば、現場監督や職人との打ち合わせもできるようになるからです。経験を積みながら、将来的には鉄骨製作管理技術者の試験に挑戦しようと考えています。